

11月22日

テーマ：「マケドニヤの叫び」

聖書箇所：使徒の働き16章6～15節

◆今日のみことば

ある夜、パウロは幻を見た。ひとりのマケドニア人が彼の前に立って、「マケドニアに渡って来て、私たちに助けてください」と懇願するのであった。使徒の働き16章9節

◆メッセージ

パウロさんがイエスさまを伝えようと、アジア（今のトルコ）で伝道旅行をしていた時のことです。もっと多くの人々がイエスさまに出会ってほしい。そう願ったパウロさんは、アジアで一番大きな町（エペソ）に行こうとしました。

しかし、不思議なことに聖霊なる神さまは、このパウロさんの伝道計画を止めてしまいます。そこで、パウロさんは、北のビテニアに行こうとします。しかし、またまた聖霊なる神さまは、パウロさんの伝道計画を止めてしまったのです。

イエスさまを伝えることは、正しいことのはずです。どうして神さまは、この伝道計画を止めてしまうのだろうか。そうパウロさんは疑問に思ったのではないのでしょうか。

神さまのお考えが分からないまま、パウロさんは西へ長い旅をして、トロアスという港町にたどり着きました。目の前のエゲ海の向こう岸にはマケドニアがあります。ヨーロッパです。

ある夜、パウロさんは幻を見ます。ひとりのマケドニア人が「マケドニアに渡って来て、私たちに助けてください」と願ったのです。

この幻を見た時、パウロさんは神さまのお考えが分かりました。イエスさまを伝えるために、神さまは「海を渡ってマケドニアに行きなさい」とおっしゃっている。そう確信したパウロさんは海を渡ります。こうしてヨーロッパ伝道が始まりました。そして多くの人々がイエスさまに出会うことになったのです。

あなたは、自分の計画が実現することが、一番良いことだと考えていませんか。計画がうまく行かず、自分の思った通りにならなければ、イライラすることや、怒ってしまうことはないのでしょうか。

しかし、神さまの計画が実現することが一番良いことなのです。あなたの計画ではなく、神さまの計画が実現するように、神さまはあなたを導いておられます。神さまの言葉を信じて、神さまが願う道へ進むではありませんか。

◆お祈り

「私の思い通りではなく、神さまの思い通りが一番良いのです。そういつも信じて、歩むことができますように。」

（高槻聖書教会牧師 玉垣資）

